第25講・日本国憲法②

1　日本国憲法の改正

① 国の最高法規（ほうき）…憲法は国の最高法規であるため，改正する場合には慎（しん）重（ちょう）な手続きが必要である。これまで，憲法改正の発議（はつぎ）がされたことはない。

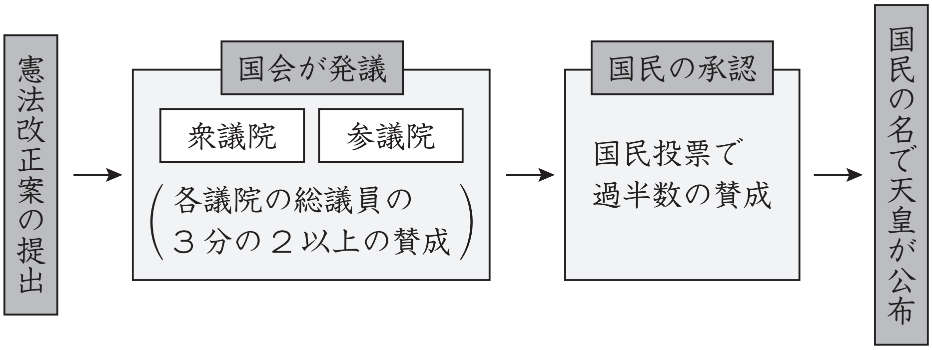
② 憲法改正の手続き…国会が発議し，国民の承認を得て，天皇が公布する。

(ア) 国会の発議…各議院（衆議院・参議院）の総議員の3分の2以上の賛成で，国会が憲法改正を発議する。

(イ) 国民の承認…国民投票を行って，過半数の賛成があれば憲法改正が承認される。

(ウ) 天皇の公布…改正された憲法は，天皇が国民の名で公布する。

憲法改正の手続き



※憲法改正の国民投票に関しては，日本国憲法改正の手続きに関する法律にもとづいて実施される。国民投票の過半数とは「有効票数の過半数」になる。よって，改正に賛成する場合，必ず投票に行くが，反対の場合も必ず反対票を投票しなければならない。

2　基本的人権

(1)　基本的人権の種類

①　自由権…国民が権力者の束縛(そくばく)や干渉(かんしょう)を受けない権利。

(ア)　精神の自由

1．思想・良心の自由（日本国憲法第19条）

…自由にものごとを考える。

2．信教の自由（日本国憲法第20条）

…江戸時代にはキリスト教が禁止され，信教の自由がなかった。

3．集会・結社・表現の自由（日本国憲法第21条）

…戦前は治安維持法(ちあんいじ)により制限された。

4．学問の自由（日本国憲法第23条）

(イ)　身体の自由

1．奴隷(どれい)的拘束(こうそく)・苦役(くえき)からの自由（日本国憲法第18条）

…強制的に働かされることのない自由。

2．不当な逮捕(たいほ)・拘禁からの自由（日本国憲法第33条・第34条）

3．住居の不可侵(ふかしん)（日本国憲法第35条）

4．拷問(ごうもん)・残虐刑(ざんぎゃくけい)の禁止（日本国憲法第36条）

(ウ)　経済（活動）の自由

1．居住(きょじゅう)・移転・職業選択の自由，外国移住・国籍離脱(こくせきりだつ)の自由

（日本国憲法第22条）

2．財産権の不可侵（日本国憲法第29条）

②　平等権…差別を受けずに誰もが同じあつかいを受ける権利。

(ア)　個人の尊重（日本国憲法第13条）

…すべての国民は個人として尊重される。

(イ)　法の下(もと)の平等（日本国憲法第14条）

> 日本国憲法第14条
> 1　すべて国民は，法の下に平等であって，人種，信条（しんじょう），性別，社会的身分又（また）は門地（もんち）により，政治的，経済的又は社会的関係において，差別されない。

(ウ)　両性の本質的平等（日本国憲法第24条）…男女の平等。

③　社会権…人間らしい生活を営むために国民が国に要求する権利。この権利を最初に保障（ほしょう）したのが，1919年に公布されたドイツのワイマール憲法である。この権利には，生存権・教育を受ける権利・勤労（きんろう）の権利・労働三権などがある。

(ア)　生存権（日本国憲法第25条）
…すべて国民は，健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

(イ)　教育を受ける権利（日本国憲法第26条）
…能力に応じて等しく教育を受ける権利がある。

(ウ)　勤労の権利（日本国憲法第27条）

(エ)　労働三権（日本国憲法第28条）
…勤労の権利とあわせて労働基本権という。

1. 団結権…労働組合を組織する権利。
2. 団体交渉権…労働組合が使用者と労働条件について話し合う権利。
3. 団体行動権…使用者に対して要求を通すためにストライキなどを行う権利。

労働三法

1. 労働組合法…労働者の労働三権を具体的に保障した法律。
2. 労働基準法…労働条件の最低基準を定めた法律。
3. 労働関係調整法…労働関係の公正な調整，労働争議(そうぎ)の予防または解決を目的とする法律。

④　基本的人権を守るための権利

(ア)　参政権…国民が政治に参加する権利。

1. 選挙権…満18歳(さい)以上になれば，誰でも選挙で投票できる権利。
2. 被選挙権…一定の年齢(ねんれい)になれば選挙で立候補(りっこうほ)できる権利。
3. その他…憲法改正の国民投票。最高裁判所(さいばんしょ)裁判官の国民審査(しんさ)。直接請求権。

(イ)　請求権(せいきゅうけん)…基本的人権がおかされた場合に救済を求める権利で，裁判を受ける権利や国から受けた損害に対して，その損害賠償(ばいしょう)を国に請求できる権利がある。

⑤　新しい人権…社会の変化にともない，裁判の結果や法律をつくることによって確立された権利。

(ア)　環境権…人間らしい生活環境を求めることができる権利。日照権や景観などを守っていく権利なども含まれる。

(イ)　知る権利…国や地方公共団体に情報公開を求める権利。

(ウ)　プライバシーの権利…他人に知られたくない私生活をみだりに公開されない権利。

(エ)　その他…自分の生き方などを自由に決定する自己決定権や，治療(ちりょう)方法を選ぶための説明を医師から受ける権利（インフォームドコンセント）。

第25講 • 確認テスト

(1)　憲法改正は誰が国民の名で公布しますか。

ア　国会議員　　　イ　内閣総理大臣

ウ　国務大臣　　　エ　天皇

(2)　精神の自由にあてはまらないものを選びなさい。

ア　表現の自由　　　イ　信教の自由

ウ　結社の自由　　　エ　居住(きょじゅう)の自由

(3)　基本的人権の中で，すべての国民が人種・信条(しんじょう)・性別・社会的身分・門地(もんち)（家がら）などによって差別されない権利を何といいますか。

ア　請求権(せいきゅうけん)　　　イ　平等権　　　ウ　自由権　　　エ　社会権

(4)　基本的人権の中で，すべての国民が人間らしく豊かに生きる権利を何といいますか。

ア　請求権　　　イ　平等権　　　ウ　自由権　　　エ　社会権

(5)　労働三権にあてはまらないものを選びなさい。

ア　団結権　　　イ　団体交渉権

ウ　団体割引　　　エ　団体行動権

(6)　社会権を最初に保障したワイマール憲法はどこの国の憲法ですか。

ア　イタリア　　イ　ドイツ　　ウ　イギリス　　エ　アメリカ

(7)　生存権は，日本国憲法第何条に書かれていますか。

ア　第9条　　イ　第14条　　ウ　第25条　　エ　第96条

(8)　法の下の平等については，日本国憲法第何条に書かれていますか。

ア　第9条　　イ　第14条　　ウ　第25条　　エ　第96条

(9)　国民が政治に参加する権利のことを何といいますか。

ア　請求権　　イ　自由権　　ウ　平等権　　エ　参政権（さんせい）

(10)　労働者の労働三権を具体的に保障した法律は何ですか。

ア　労働組合法　　イ　労働基準法
ウ　労働関係調整法　　エ　労働契約法

第25講 • 確認テスト

解答

(1)　エ	(2)　エ	(3)　イ	(4)　エ	(5)　ウ
(6)　イ	(7)　ウ	(8)　イ	(9)　エ	(10)　ア

〈 Note 〉